

記号列生成タスクを用いた創造力テストによる拡散的思考力の評価

Measurement of diffusive thinking using a creativity test with a symbol sequence generation task

学籍番号：201321656

氏名：安政 駿

Shun YASUMASA

近年、情報技術の発達により以前では測定することが困難であった事象や能力を測定することが可能になってきている。本研究では、測定することが困難である能力として、創造的思考に着目する。創造的思考において重要な要素とされているものとして、意図的な拡散的思考が挙げられる。これは創造活動において概念の組み合わせをできるだけ多く試みることで思考の幅を拡大することである。人が拡散的思考を行う上では複数の課題が存在する。一つ目は、概念の組み合わせは膨大な数存在するという点である。また、二つ目の課題として、同じ組み合わせを何度も確認してしまうという点が挙げられる。このことから、拡散的思考力には様々なベクトルがあると考えられる。例えば、どれだけ多くの組み合わせを表出することができるかという流動性、広範囲のカテゴリを探索できるかを示す柔軟性、予期しない新しいものを生み出せるかの独創性が挙げられる。これらの3つの創造性を測ることのできる既存のテストであるトーランス式創造性思考テスト (TTCT) と本研究で作成する創造力テストを比較することで既存のものより簡単に創造性並びに拡散的思考力を測定することを目的にする。

創造力テストでは、人の思考パターンに着目し、数字を連続で入力することによりパターン性が生成されるかを実験した。いくつかの特徴的な結果を見出すことができ、TTCTと比較分析した結果、流動性、独創性においては関係する傾向が見られた。

結論として、人の思考が組み合わせ空間における狭い範囲のみを探索し、限られたパターンのみを生み出す傾向を持っていることを示唆した。また、拡散的思考を表す指標として思考の独創性、流動性を挙げ、それらが創造力テストにより測定することができることを示した。

研究指導教員：森嶋 厚行

副研究指導教員：若林 啓